

関東地区 4支部連合会報

— 東京・埼玉・千葉・神奈川 —

第91号 2025年12月1日発行

発行

愛知大学同窓会関東地区4支部連絡協議会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1

霞が関コモンゲート西館37階

愛知大学東京霞が関オフィス内

TEL (03) 3501-6405 FAX (03) 3501-6406

令和八年 関東地区四支部

特別講演会・新年会を開催

打田委千弘教授を講師に迎え—一月三十一日(土)

日本橋プラザ・三階会議室

今回の新年会の特別講演会は、経済学部の打田教授をお迎えし、「地域の持続性と事業承継」についての講演をしていただきます。2026年6月に全国の大学の研究者600人が愛知大学に集まり、生活経済学会のシンポジウムが催されます。

打田教授は、当該学会の主催者となり、生活者の立場からの経済活動全般の改善・充実に対する課題と解決策を論じ、提言をまとめる大役を果たされます。

(第1ブロック長 齊本正嘉)

〈第1部〉 特別講演会

日時 令和八年一月三十一日(土) 十一時~十二時

(受付 一〇時三〇分)

会場 日本橋プラザ・三階会議室

東京都中央区日本橋二—三—四

(電話〇三—三三—一〇四二二)

電車—JR東京駅八重洲北口徒歩四分、

地下鉄—東京メトロ銀座線・東西線・都営地下鉄日本橋駅B3出口徒歩一分

講師 打田委千弘愛知大学教授

テーマ 「地域の持続性と事業承継」

〈第二部〉 新年会

日時 同日 十二時一五分~

会場 同・三階会議室

会費 男性七〇〇円、女性等若手卒業生五〇〇円

〈問合せ・連絡先〉

愛知大学霞が関オフィス内東京支部事務局岩城龍夫

電話 〇三—三五〇—一六四〇五

■講師紹介

打田 委千弘(ウチダイチヒロ)

(愛知大学教授)

略歴等

出身…愛知県豊田市(現在、愛知県岡崎市に在住)

学歴…1991年3月立命館大学経済学部経済学科卒業

1997年3月立命館大学大学院経済学研究科博士課程

後期課程単位取得満期退学

2001年3月博士(経済学)立命館大学取得

職歴…立命館大学経済学部助手、龍谷大学経済学部特任助教、名古屋市立大学経済学部附属経済研究所助手、愛知大学経済学部専任講師、愛知大学経済学部助教授、愛知大学経済学部准教授、愛知大学経済学部教授(2012年4月)



〈会場案内図〉



東京駅八重洲北口から徒歩4分

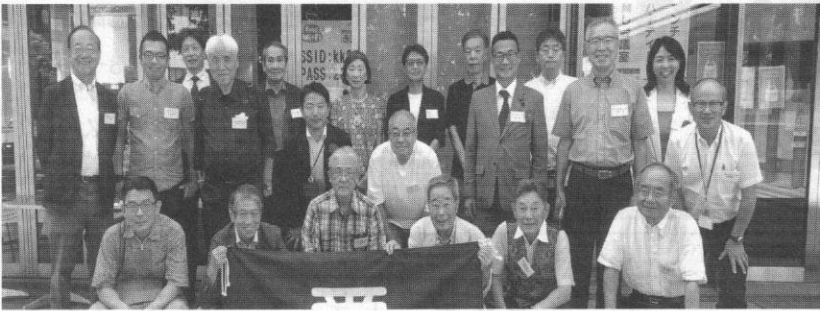
日本橋駅から徒歩1分

お願い…出欠のご返事を1月20日(火)までに同封のハガキでお知らせ下さい

東京支部

2025年度支部総会を開催!

本年7月19日(土)に、愛知大学東京霞が関オフィスで、支部総会を催しました。来賓として、愛知大学学長代行として久次米剛生総務部長、同窓会会長代行として齊本正嘉第一ブロッケ長、埼玉、神奈川各支部長をお迎えし、計23名が参加し、2024年度事業報告・収支報告、2025年度活動計画・収支予算が承認されました。当日は、支部総会開催前に、恒例の立川小談志師匠、柳家燕弥師匠に、2人落語会をお願ひしました。また、総会終了後に、建物横1階のエキスパート倶楽部で昼食を兼ねた懇親会を実施し、盛大に盛り上がりました。



(1) 2024年度収支報告について (2024.4.1~2025.3.31 (単位:円))

収入	決算額	予算額	支出	決算額	予算額
本部助成東京会費	69,500	70,000	会議費	64,806	10,000
寄付金	116,000	100,000	通信費	78,118	100,000
東京支部総会費等	39,800	20,000	会報等印刷費	81,802	100,000
山梨支部より受入	184,000	180,000	交通費	48,840	50,000
他支部立替金	243,951	243,951	東京支部総会費	242,510	180,000
雑収	10,688	0	校友会交流費	0	5,000
	71	10,000	新年会セミナー等開催費	12,245	20,000
			江戸名所巡り(下見費)	9,720	0
			雑費	15,925	15,689
			予備費	0	361,208
前期繰越金	217,946	217,946	次期繰越金	327,970	0
合計	881,936	841,897	合計	881,936	841,897

(2) 2025年度収支予算について (2025.4.1~2026.3.31 (単位:円))

収入の部		支出の部		備考
本部助成金	70,000	役員会開催費	10,000	
支部会費	100,000	通信費	100,000	
寄付金	20,000	会報等印刷費	100,000	
雑収入	10,000	特別セミナー等開催費	20,000	
総会会費	180,000	総会開催費	180,000	
前期繰越金	327,970	校友会交流費	5,000	
		交通費	50,000	
		雑費	20,000	
		予備費	222,870	
合計	707,970	合計	707,970	

- △総会▽ 2024年度東京支部総会 2024年7月13日(土) 日比谷図書文化館 34名参加
- △役員会▽ 計6回
- △会報▽ 連合会報 第88号、第89号 発行
- △江戸名所めぐり▽ 「海の森公園」下見会 2025年3月29日
- △平成卒の同窓生の集い▽ 中止
- △関東地区支部等合同行事参加
- △特別セミナー等▽ 関東地区支部合同新年会 2025年2月1日 日本橋プラザ44名参加
- 特別講演「愛知大学「新しい朝の光」は」 講師 広瀬裕樹愛知大学学長
- △第28回本間喜一元学長欽慕の会▽ 2024年5月12日

- ① 支部活動の充実として 年次別等のグループの活動の充実と会員名簿を整備する。
- ② 愛知大学創立80周年記念事業及び同窓会75周年記念事業に協力して行く。
- ③ 関東4支部の連合の交流を活発化するとともに連合会報の発行等を行う。
- ④ 本間喜一元学長欽慕の会に協賛するとともに先覚者の墓参に協力する。
- ⑤ 財政基盤の強化として、年会費2,000円の納入をお願いし、納入者の拡大を図る。
- ⑥ △江戸名所めぐり▽ 甲斐の国散策 2025年10月25日 海の森公園散策 2026年3月21日

- ⑦ 東京支部総会・懇親会 2025年7月19日(土) 支部総会・懇親会 於:愛知大学東京霞が関オフィス等

2025年度 支部会費・寄付金納入者名簿

(2024年4月~2025年3月) (卒年順34名)

支部会費

- 小川千尋(29)、藤井明雄(29)、校條 満(31)
- 牛山 功(32)、兼子欣也(35)、清水由美子(38)
- 加藤鐵三(39)、小椋康宏(42)、高井和伸(42)
- 浦川 剛(45)、金沢 修(46)、山本哲一(46)
- 上ヶ平實(47)、杉野彰一(47)、春井 勲(48)
- 淀野敏男(48)、小河内雅晴(49)、岩城龍夫(52)
- 鷲野 薫(52)、瀧澤俊彦(54)、奥山みどり(55)
- 矢崎克仁(56)、飯田一貴(56)、長崎昌子(57)
- 田中正博(59)、大久保知也(60)、松本和香子(63)
- 宮崎晋樹(63)、酒井元紀(H11)
- 各務由希也(H10)、立川小談志(H11)
- 村松大介(H8)、菅原暖仁(R5)

寄付金

- 藤井明雄(29)、赤川開一(29)、加藤鐵三(39)
- 高井和伸(42)、金沢 修(46)、春井 勲(48)
- 岩城龍夫(52)、長崎昌子(57)

支部会費、寄付金の納入、誠にありがとうございました。
(支部長 杉野彰一)

〈行事予告〉

2026年3月21日(土) 10時 「東京湾・海の森公園」で、森を育てるボランティア活動予定!

「訃報」

高井和伸氏(四二卒、元東京支部長・元顧問)は、本年七月三十日にご逝去されました。高井様の同窓会へのご尽力に心から感謝申し上げます。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

会員だより 東京

山梨・甲斐の国散策

昨年の4月、山梨支部は会員の連絡不通、高齢化などで東京支部に合流しました。2、3年に一度は山梨での会合を開催するという支部の方針のもと、10月25日(土)に、「甲斐の国散策」を企画しました。

10人程度の参加者を見込みましたが、当日の参加者は山梨在住2名、東京5名、神奈川1名の計8人でした。

山梨の名酒「七賢」の蔵元見学からスタートする予定が、東京からの6名の車は中央道・談合坂付近の自然渋滞で一時間遅れ。やもなく、白州・サントリウイスキー博物館に直行、約一時間、ウイスキーの醸造の勉強、試飲できるのですが、あいにく車の運転のため、香りだけ?。お昼は、懇親会を兼ねて、地元の有名な蕎麦処「藤乃屋」、開店前には並ばないと入れない人気店ですが、13時を過ぎていたため、並ばず入店、腰のある蕎麦に「うーん」舌つつみ。久しぶりに美味しい蕎麦に会いました。

次のコースは、「平山郁夫シルクロード美術館」、シルクロードの文化遺産と平山郁夫の作品の展示をしています。シルクロードの仏像が沢山展示してあり、仏教のルーツや東・西アジアとの交流の歴史を改めて学習、また、平山画伯の「シルクロードを歩くキャラバン」西・月」などの大シルクロードの連作はとても迫力があり、何時間でも眺めていられ、心を惹かれる作品がいっぱいでした。また、行きたくなる美術館でした。その後、地元の瀧澤氏のお勧め場所は、清里の「清泉寮」、この寮は、



1938年、キリスト教の一派聖公会の青年運動団体である聖徒アンデレ同胞会・創始者ジェームズ・L・ホーテリング氏を記念し、日本聖徒アンデレ同胞会指導者訓練キャンプ場として奉獻され、以来、清泉寮は大自然の中の青年指導者の養成のための修養会、自然学級の使命を果たしてきました。しかし、戦中は封鎖されてしまいました。戦後、再建され、以来、清里農村センターの拠点施設として多くの来訪者を迎え、困難を乗り越えて、1957年に清泉寮が再建。広々とした牧場と木のぬくもりが感じられる建物は、学校や企業の研修施設として、また個人方にも利用されているようです。清里にこのような施設があるのを初めて知り、家族旅行でまた来てみたい場所、名物の生乳が使われている「ソフトクリーム」は格別な味わいでした。

今回の山梨企画は地元の方が2人で少なかったのですが、次回は多くの山梨県会員が集まれるよう企画を立案していきます。(事務局 岩城龍夫)

2024年度 決算報告

(期間2024年4月1日~2025年3月31日)

Table with columns for Income (収入) and Expenses (支出) for 2024. It lists items like '事業収入' (276,100) and '事業支出' (145,686), ending with a total of 639,020 for both sides.

※「次期繰越金」の内訳は、現金8,986円、ゆうちょ銀行548円、銀行預金186,911円 会計監査報告: 愛知大学同窓会埼玉支部2024年度会計について監査を行った結果、上記決算報告書は適性と認められました。特に指摘する事項はありません。

2025年5月14日 監査役 夏目 益良

2025年度 予算

(期間2025年4月1日~2026年3月31日)

Table with columns for Income (収入) and Expenses (支出) for 2025. It lists items like '事業収入' (270,000) and '事業支出' (130,000), ending with a total of 616,545 for both sides.

埼玉支部

埼玉支部総会

埼玉支部の総会は、7月13日(日)、大宮の「東天紅」にて開催されました。

当日は、八木好郎同窓会長、中野貴文校友課長、総務課から前田直樹氏が参加してくださいました。加えて、近隣3支部長及び会員の方々11名が遠方から忙しい中、足を運んでくださいました。

総会に於いて承認された前年度の会計・活動報告と今年度の予算・活動計画は、別掲の通りです。ご参照ください。今年度の支部行事として今年4月に、

武蔵探見で「草加松原(国指定名勝)と草加宿・文学碑散策」を実施することができました。

来年は4月に大宮の鉄道博物館を見学する予定です。詳細は次項をご覧ください。

また、月例の読書会は、この12月で279回目となります。

支部内部及び近隣支部との連携を大切にして「集い遊び、集い学ぶ」を実行して行ければ幸いです。

愛知大学同窓会埼玉支部長

吉田一弘

会員だより *埼玉*

第二十五回 武蔵探見

「鉄道博物館(さいたま市)見学」
(ガイドによる館内案内あり)

日時 令和八年四月四日(土)

集合 大宮駅ニューシャトル改札前

10時集合(時間厳守)

申し込み締切日 令和八年三月二十日

連絡・申し込み

吉田 090-1059-6506

夏目 090-9809-8839

会費 1600円(博物館入場料)

昼食は館内食堂で各自お願いします。

スケジュール

10:30~11:30 館内見学

11:40~13:30 昼食

13:40~14:20 自由見学

14:30頃 解散 その後、イタリアンカフェ「アタツチメント2」にて自由参加の懇親会

2007年に開館した鉄道博物館は本年10月1日現在、2500万人の来場者を数えました。実物に触れる、腰かけられる、子供から大人までに人気の博物館です。

《明治18年に岩倉具視等、華族が出資して創設した日本初の私鉄鉄道会社により造られた大宮駅は鉄道の基点として発展してきました。併設された日本鉄道大宮工場は当時2500人の作業員が従事し、その技術は世界的にも高いものでした。現在、東北・北陸・上越・山形・秋田新幹線の拠点となり、乗客のみならず物流の拠点として発展しつつあります。》

埼玉支部・東京支部共同企画

杉並区荻窪「三庭園」散策

日時 令和八年五月三十日(土)を予定

集合場所 JR中央線・東京メトロ丸ノ内線「荻窪駅東口改札口(南口b)」

集合時間 10時

会費 千三百円 全行程約二時間半

解散後の昼食は各自でお願いします。

①大田黒公園は、日本で初めて音楽評論という分野を確立した大田黒元雄の屋敷を杉並区が回遊式日本庭園として整備し、一九八一(昭和五十六)年に開園。

②角川庭園は角川書店の創業者の角川源義の邸宅を寄贈された区が整備し現在に至る。

③荻外荘(てきがいそう)は藤原摂関家嫡流の近衛公爵家の長男として生まれ、昭和戦前期に内閣総理大臣を三度務めた近衛文麿の住居。また、戦争への重要な会議の開催された所でもあった。終戦後GHQより逮捕状発せられ、出頭日の昭和20年12月16日早朝に荻外荘の書斎で自決した。

三庭園

申し込み連絡先 岩城龍夫 090-4452-0053

吉田敏 090-1059-6506

締め切り日 令和八年五月十五日

2024年度 活動報告

- 01第23回武蔵探見「渋沢栄一翁ゆかりの地」深谷市散策 4/07(日)
- 02全国支部長・部会長会議(車道校舎) 4/20(土)
- 03第一ブロック会議(車道校舎) 4/20(土)
- 04本間喜一元愛大学長欽慕の会(小平霊園) 5/12(日)
- 05全国代議員総会(車道校舎) 6/02(日)
- 06埼玉支部総会(東天紅JACK大宮店) 7/20(土)
- 07第23回テーマ発表「角川武蔵野ミュージアムとモネ特別展」見学・散策 10/16(水)
- 08関東地区4支部合同新年会(日本橋クラブ) 2/01(土)
- 09支部連絡会(大宮市) 4.10.1月最終日曜日
- 10月例読書会(シーノ大宮) 原則毎月第三水曜日

2025年度 活動計画(案)

- 01第24回武蔵探見「草加宿・草加松原」散策 4/06(日)
- 02全国支部長・部会長会議(車道校舎) 4/19(土)
- 03第一ブロック会議(車道校舎) 4/19(日)
- 04本間喜一元愛大学長欽慕の会(小平霊園) 5/11(日)
- 05全国代議員総会(車道校舎) 6/01(日)
- 06埼玉支部総会(東天紅JACK大宮店) 7/13(日)
- 07関東地区4支部合同新年会(日本橋クラブ) 1/31(土)
- 08支部連絡会(大宮市) 4.10.1月最終日曜日
- 09月例読書会(シーノ大宮) 原則毎月第三水曜日



2025年度埼玉支部総会

【埼玉支部】

2025年度支部会費納入者名

(2025年10月30日現在)

- 中山 弘 (38法) 山口 昇 (40経)
- 花井洋資 (42経) 浜田重遠 (43営)
- 中川善弘 (44経) 田辺倫子 (44女短)
- 吉田 敏 (45文) 小幡達夫 (47法)
- 夏目益良 (47経) 林 三郎 (47経)
- 真野仁志 (53経) 荒木淳一 (54文)
- 吉田一弘 (56文) 野村隆宏 (56法)
- 亀ヶ谷澄子 (日5法)
- 山内健治 (日9法)
- 金津吉和 (日20現中)
- 田代佳穂利 (日31院経営(修士))

住所、氏名、電話等の記名無し

1件

19名

千葉支部(ちば古哲会)

千葉支部第34回総会・懇親会報告

まだ6月だというのに猛暑の続く29日(日)に関東4支部の支部総会の皮切りとして、千葉支部総会を柏市の麗澤大学構内「キャンパスプラザ会員会館」において開催いたしました。大学から小林慎哉副学長、財務課の安田周平様、同窓会の八木好郎会長、教育研究支援財団の甲村洋子事務局次長、そして東京支部、埼玉支部、神奈川支部から役員の皆様のご臨席を仰ぎ、千葉支部から16名の会員が参加して開催されました。

李相龍副支部長の進行の下、議事に先



千葉支部総会・懇親会出席者の皆さん

立ち千葉支部の役員として長年ご活躍された戸田七七様のご冥福を祈り黙祷を捧げました。その後、学生歌の斉唱を行った後、齊本正嘉支部長から千葉支部会員の動向、「愛大ビジネススクラブ」及び「東京霞が関オフィス」の活用、エズラ・ヴォーゲル記念フォーラム、愛大図書館の新聞記事掲載、人材育成ランキングで見事全国大学第1位に輝いたことなどの報告があり、竹田貴文事務局長を議長に選出し、左表に掲げた2024年度活動報告及び決算報告・同監査報告、2025年度の活動計画・予算が議題に付され、全て全会一致で可決・承認されました。

●2024年度 活動報告

- ・第33回 千葉支部総会・懇親会 7月21日
- ・第16回 関東4支部親善ボウリング大会 11月10日
- ・支部忘年会 12月9日
- ・第15回 県内歴史探訪 3月30日
- ・関東4支部連合会報の発行(88, 89号)

●2025年度 活動計画

- ・第34回 千葉支部総会・懇親会 6月29日
- ・第17回 関東4支部親善ボウリング大会 11月9日
- ・支部忘年会 12月1日
- ・第16回 県内歴史探訪 3月予定
- ・関東4支部連合会報の発行(90, 91号)

●2024年度決算報告(2024.4.1~2025.3.31)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	408,462	支部総会関係費	187,421
同窓会本部助成金	50,000	4支部連合会報発行費(88・89号)	31,264
支部年会費	62,000	4支部合同新年会負担金	14,875
支部総会会費	150,000	支部交流費補助金	24,000
第16回ボウリング大会会費	80,000	第16回ボウリング大会関係費	97,070
支部忘年会会費	48,000	支部忘年会関係費	58,800
県内歴史探訪会費	62,000	県内歴史探訪関係費	88,762
4支部連合会報発行補助金	8,368	通信費	30,700
寄付金	36,500	事務消耗品費	4,220
		払込・振込手数料(郵便局)	6,004
		その他	7,995
		次年度繰越金	354,219
合計	905,330	合計	905,330

●2025年度予算(2025.4.1~2026.3.31)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	354,219	支部総会関係費	200,000
同窓会本部助成金	50,000	4支部連合会報発行費(90・91号)	30,000
支部年会費	80,000	4支部合同新年会負担金	20,000
支部総会会費	165,000	支部交流費補助金	20,000
第17回ボウリング大会会費	100,000	第17回ボウリング大会関係費	120,000
支部忘年会会費	75,000	支部忘年会関係費	85,000
県内歴史探訪会費	80,000	県内歴史探訪関係費	100,000
4支部連合会報発行補助金	10,000	通信費	30,000
寄付金	30,000	事務消耗品費	10,000
		払込・振込手数料(郵便局)	5,000
		予備費	30,000
		次年度繰越金	294,219
合計	944,219	合計	944,219



千葉支部総会・ハワイアンバンド

記念撮影を行った後、懇親会では小林副学長から来年の80周年に向けた取り組みなどの大学の現状報告、同窓会の八木会長からビジネススクラブをはじめとする同窓会の活動報告、財団の甲村事務局次長から財団の事業内容、財務課の安田様から80周年のコンセプト等についてご挨拶・報告をいただきました。

そして堀昌彦理事による乾杯のご発声により懇談に移りました。

今回も3度目となる同窓生の塩澤貞夫さん、小林昌和理事が参加する総勢11名によるハワイアンバンドの演奏がマリヒニ・メレを皮切りに7曲演奏されたのち、参加者最年長の江坂紀元さん(31年卒)が参加し「憧れのハワイ航路」が披露され大いに盛り上がり、盛大なアンコールの掛け声で3曲が披露され、来年も演奏していただくことをお願いいたしました。

その後、各支部からの報告があり、その中で神奈川支部の伊藤登美夫支部長と江坂さんによる満州建国大学の寮歌が披露されました。村尾竹一顧問による中締めがあり、楽しく和やかな会も来年の再会を約束してお開きとなりました。

(竹田貴文)

会員だより *千葉*

名古屋刑務所

8月5日、母校の学生22名を総務部の久次米部長、キャリア支援課の藤田さん校友課の齊藤さんとともに名古屋刑務所に引率し見学会を実施しました。私が名古屋刑務所を訪問するのは2回目です。前回は20年前のことでした。その時の所長は小畑輝海氏で、私に「法律を破ってはいけないことは誰でも知っている。学校でも教えている。会社に入っても法令順守ということが勉強会を実施しているが犯罪は起こり、人は罪を犯す。法令順守は勉強すれば出来るということではない。法律を犯せばどうなるか、刑務所の内側の現場を見ておけば、罪を犯さない抑止力になる。一度、見学にくるように」との



お誘いがあり訪問させていただいた。何故、学生を刑務所の見学に連れて行ったのか？それは、闇バイト、オレオレ詐欺、補助金詐欺、大麻の所持など現役大学生が罪を犯し逮捕されている。大学でも罪を犯さないように指導しているものの犯罪が起こっている。

このような現実から現役学生に刑務所の内部を見学してもらい、甘い誘いがあつたときに、この塀の中に入るのか、塀の外で自由に暮らすのかを体感し、自分の行為の結果がどうなるか判断してもらいたかったことにあります。見学当日は、40℃近い温度で、その中で冷房もなく矯正作業を行い、独房での自由のない生活をしている状況を見て、学生らは塀の中には行きたくないと感じたはずで。

(50年卒 齊本正嘉)

2025年度千葉支部

「支部会費・寄付金」納入者名簿

「支部年会費」等を納入下さった方は左掲のとおりです。

ご理解とご協力に心より御礼申し上げます。支部の活動は会員の皆様のご支援により成り立っており、役員一同感謝申し上げます。

●支部年会費・寄付金(2025年9月末現在)

- ◇江坂紀元(31)堀 昌彦(36)中山 弘(38)
- ◇伊藤明良(42)塩澤貞夫(43)
- ◇村尾竹一(44)金森定夫(44)
- ◇湯山義則(44)小林昌和(44)中神六郎(44)
- ◇長野道雄(45)石原 豊(46)虫鹿敏克(46)
- ◇窪田雄一(47)李 相龍(47)竹田貴文(48)
- ◇西山康夫(48)齊本正嘉(50)永谷恵子(54)
- ◇水野滝男(55)浦田聖司(62)

◇印の方からは寄付金をいただきました(卒年順・敬称略)

神奈川支部

支部総会・講演会の報告

7月5日(土)、第34回神奈川支部総会を大倉山記念館にて開催しました。当日は、広瀬裕樹愛大校長、齊本正嘉愛大同窓会副会長、松田イサオ衆議院議員、校友課の佐々木幸子様、国際交流課の神谷茂樹様、遠路より滝下隆夫大阪支部長、西川米子国際コミュニティセッション学部同窓会長にご臨席いただき、友誼支部の千葉・埼玉・東京各支部役員の方々と神奈川支部会員、合わせて25名の出席となりました。総会では、第1号、第5号議案の全議案が、原案通りに可決され、新たに

清水孝典氏が副支部長に昇任しました。また、総会に先立って(財)大倉精神文化研究所との共催による第20回公開講演会では、広瀬学長に「いのち」をお金にするということ、生命保険と法」と題したご講演をしていただきました。総会終了後、近隣の「ザ・ニューオークラ」にて懇親会を行いました。高間副支部長の名司会のもと出席者全員の個性豊かなスピーチに聞き入り、明るい雰囲気の中で懇親を深めました。また、恒例の金原氏のマジックは、拍手大喝采で大いに会場は盛り上がりました。(事務局長 荒井隆史)

2025度活動計画

神奈川支部のモットーである「安心して参加出来、満足して帰宅できる」事業を目指して、おもてなしの心をもってきめ細かな計画の作成を心掛けてまいります。

- 1 支部総会・講演会・懇親会
7月5日(土)大倉山記念館他
 - 2 第5回神奈川名所名跡めぐり
5月17日(土)「北鎌倉寺院めぐり」【雨天中止】
 - 3 神奈川支部だより 随時発行
 - 4 第5回神奈川名所名跡めぐり
10月18日(土)「北鎌倉寺院めぐり」
 - 5 第1回花観の会(「観梅会」は発展解消) 2026年春
 - 6 役員会 随時
 - 7 共催・協力事業
- 「関東地区4支部連合会報」90号(6/1)と91号(12/1)発行
 - 関東3支部の支部総会・支部事業へ出席
 - 欽慕の会(故本間学長墓参) 5月11日(日)
 - 桜花忌(故根津院長墓参) 2026年3月
 - 関東四支部親善ボーリング大会
 - ルーツ校との交流(東亜同文書院基金会授賞式・横浜寮歌祭・日本寮歌祭に出席)
 - 本部事業出席(支部長会議・代議員会・創立記念日ゴルフ大会)

2025年度収支予算 (自 2025.4.1 至 2026.3.31)

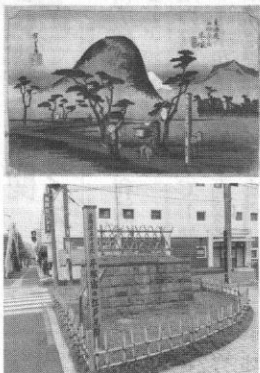
収入の部		支出の部	
(1) 事業費収入	250,000	(1) 事業費支出	200,000
(2) 助成金収入	70,000	(2) 会議費	210,000
(3) 支部会費	86,000	(3) 総会費	140,000
(4) 寄付金収入	200,000	(4) 通信費	30,000
(5) 雑収入(受取利息)	100	(5) 印刷費	10,000
		(6) 消耗品費	2,000
		(7) 雑費(含む寄付金等)	2,000
		(8) 振込等手数料	1,000
		(9) 四支部連協関連支出	70,000
		(10) 予備費	50,000
小計	606,100	小計	715,000
前期繰越金	435,535	次期繰越金	326,635
合計	1,041,635	合計	1,041,635

次回予告

第6回目となる神奈川名所名跡めぐりは、来年5月16日に東海道53次の宿場町である「平塚宿」の散策を予定しています。

また、皆様への開催の案内につきまして、これまでの葉書による案内から電子メールへの利用を推進していますので、皆様のご協力をお願いします。

(神奈川をガイドする会)



愛知大学同窓会 神奈川支部総会(大倉山記念館) 2025年7月5日

大倉山会館前にて

会員だより *神奈川*

私の愛大

横浜市 島岡憲二

気が付いたら今年で75歳を迎える。今は健康に恵まれた日々を楽しんでいるが、苦しい時代もあった。1969年、大学受験の時期にレスリングで痛めた椎間板ヘルニアが悪化した。右足は痺れ、腰は鉛のように重く、椅子に長く座れなかった。6月に手術を受け、8月中旬迄上半身を石膏ギブスで固定されたまま夏の暑さに耐えた。手術は成功し足の痺れも、腰の激痛もピタリと消えた。嬉しくて歩きながら涙が出た。受験準備は遅れたが、1970年4

月愛大法経学部法学科(名古屋校舎)に入学できた。

1回生の時、特待生となり、学生課から愛法会への入会を勧められ、同じく特待生となった3名と入会した。案内された校舎の奥の研究室は静寂と緊張感に包まれ、全員が真剣に勉強していた。約30名で大半は司法試験を目指し、毎年3〜4人合格した。私は研究室で相当量の読書をした。刑法は総論から読み込み完読した頃には法律的な議論が出来る自信があった。夏目ゼミ(刑法)での議論も楽しかった。夏目教授には就職の相談も含め大変お世話になった。

1974年4月三菱銀行に入行し、本部の企画推進部門が長かったが、支店長も3カ店経験した。企業分析は社内では鍛えられ、縁あって企業の資金回収実務は岐阜信金法務室の山中さん(愛大の先輩)に教えて頂いた。商法の分野で優れた見識を持つ方だと尊敬している。

2002年に28年間務めた銀行を退職し、関西に本社のある会社に転職した。社長の補佐(専務)としてグループ全体を総括し国内外への出張も多く多忙な18年だった。

還暦を過ぎて思うことは今を生きる事の大切さだ。現在を全力で生きれば、過去の失敗は教訓や思い出となり、未来は微笑む。

全力で学ぶ環境を与えてくれた愛知大学のおかげで今の私がある。心から感謝している。(昭和49年卒)

2025年度

支部会費・寄付金納入者名簿

(卒年順33名) 2025年9月30日現在

支部会費

- 高階 昇(滙友会)、岸本良次(H28)
- 中島寛司(H33)、栗山登之(34)、勅使河原平八(H34)
- 横田浩司(H34)、石川光芳(H38)、梅村 修(H38)
- 時谷則子(H40)、金原俊通(H41)、青山輝男(H42)
- 中島久男(H42)、森澤光子(H43)、鈴木 宏(H43)
- 柴垣敏秋(H43)、浅井俊之(H43)、高間益雄(H44)
- 伊藤登美夫(H44)、新家康寿(H44)、島岡憲二(H49)
- 荒井隆史(H50)、山本美恵子(H50)、一之瀬和彦(H52)
- 清水孝典(H53)、小林誠二(H53)、加藤浩明(H58)
- 鳥越 剛(H58)、角崎理恵(H2)、岩坂英明(H2)、平田浩一(H3)
- 渡會健夫(H5)、相崎高弘(H14)
- 金森 祥平(H26)

寄付金

- 高階昇(滙友会)、岸本良次(H28)
- 中島寛司(H33)、横田浩二(H34)、勅使河原平八(H34)
- 石川光芳(H38)、金原俊通(H41)、中島久男(H42)
- 鈴木 宏(H43)、浅井俊之(H43)、柴垣敏秋(H43)
- 伊藤登美夫(H44)、高間益雄(H44)、新家康寿(H44)
- 山本美恵子(H50)、一之瀬和彦(H52)、清水孝典(H53)
- 鳥越 剛(H58)、岩坂英明(H2)
- 渡會健夫(H5)

(会計) 鳥越 剛

支部会費などの納入を

有難うございます

当支部の活動は、全国的にも高い評価を頂いています。皆様からの支え(支部会費・寄付金納入)のおかげです。引き続き、一層のご協力をお願い申し上げます。(支部長 伊藤登美夫)

「訃報」

高階昇氏(滙友会)、岸本良次氏(28年卒)が逝去されました。両氏の同窓会へのご尽力に感謝し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

東京霞が関 オフィスだより

令和7年6月以降の利活用状況をご紹介します。

①学生の就活支援として「就活のエンターシート作成支援や面接練習などをWEB面談にて行っています。6月～7月は公務員志望の面接対策がピークとなりこの2か月で名古屋26名、豊橋3名の学生に対して支援や相談に対応しました。また、企業訪問等のために東京を訪れた学生のよろず相談や、本番前に緊張をほぐしてもらうなどのメンタルケアも行っています。霞が関オフィスの職員2名は、今年度より国家資格キャリアコンサルタントの資格を取得し、就活生のために強力なバックアップができるよう備えていますので是非ご活用ください。

②ゼミ利用として「夏休みに入り、3つのゼミ合宿でご利用いただきました。7・8月・国際コミュニケーション学部・飯島ゼミ7名、9月・地域政策学部・駒木ゼミ13名、9月・国際コミュニケーション学部・加納ゼミ19名。コロナ後途絶えていたゼミ合宿が再開され、普段と異なる場所でワイワイと活発に意見交換するゼミ風景が見られました。

③法科大学院の入試は、6月以降では、6月28日、9月6日、10月18日の3回利用がありました。
④教員の研究会利用として「文学部 山本昭先生所属の研究会にて月2回ペースでご利用の他、地域政策学部 湯川治敏先生、国際コミュニケーション学部 鈴木規夫先生等、個人の研究会開催のため定期的にご利用いただいています。
⑤同窓会・OBの利用として「7月東京支部総会や、9月寮歌振興会などを含め6月～9月で同窓会やOBの方に延べ69名ご来訪いただきました。特にご用件

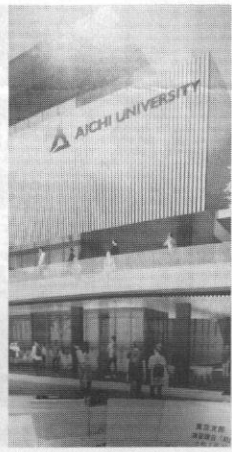
がなくとも、霞が関オフィス所蔵の図書を読みにお越しになったり、若いOB・OGの方が仕事の合間に立ち寄りてくださることもあります。お近くにお越しの際は、37階からの景色を眺めにお気軽にお立ち寄りください。
(愛大東京霞が関オフィス 佐藤)

愛知大学豊橋校舎

「豊橋キャンパス」の新棟・センタービルオープニングセレモニー&祝賀会に参加!

センタービルは、2025年3月に竣工し、今年の9月に1階・2階・4階を先行オープンしました。

オープニングセレモニー&祝賀会は、豊橋校舎等で、9月23日に来賓者等約300名が参加し、センタービルのオープニング、お披露目会、祝賀会が行われました。関東地区からは、齊本千葉支部長・同窓会副会長と東京支部長代理・事務局長岩城龍夫の2人が参加しました。



セレモニーは大学らしく、スマートで無駄がなく品のある式典でした。祝賀会も愛大らしくシンプルで心のこもった進行で、何と司会者は、東京霞が関オフィスの職員林めぐみさんがなさいました。さわやかな司会進行で花が咲いたような司会ぶり(お見事!)が際立っていました。
新棟センタービルは、3号館跡地の豊橋キャンパス中心地で、4階建てのアカ

デミック棟、前庭は天然芝からみる正面はスクエア空間です。

1階はコミュニケーション広場で、広々と心地よい交流スペース、大教室475席・中教室(289席×2部屋、200席×1部屋)、地域連携推進事務室(地域連携・社会連携プログラムの企画・調整窓口)があります。

2階はWork Floorで、情報メディア関連スペース(メディアカウンター・情報メディアセンター)と国際・語学教育に関するスペース(コモンズ、ラーニングコモンズカウンター、国際交流課、Language center)があります。

3階はLibrary Floorで、集密書架エリアと学修エリアで構成されます。最上階の4階は、東西南北に窓があり高木や、広場の天然芝、旧陸軍15師団の明治近代建築、東には湖西連峰を見ることができます。

自然と調和したキャンパスが眺望でき、個人でもグループでも学が多様な学習空間を提供している、昭和卒のOBからみれば、何とやらやましい環境なんだろうかと感じます。

このような立派なキャンパスで勉強出来る学生がうらやましい限りです。やる気のある元気な学生がこのキャンパスでしっかり学んで、立派な社会人へ成長してくれることを願うばかりです。
(東京支部事務局 岩城龍夫)

同窓会本部の動向について

10月21日第2回同窓会理事会・常任理事会が開催されました。

【審議事項】

- ・豊橋校舎センタービル竣工に関わる祝い金の謹呈について
- ↓後援会と同額の5千万円とする
- とで、代議員会に付議することを決議

・大学創立80周年記念寄付金にかかわる協力について
↓各支部会員1名あたり2千円を各支部の目標とする
・愛大への志願者増加に向けての高校訪問等支援策について
↓大学と協働して全国の高校・進学塾を訪問する

【協議・報告事項】

- ・愛大ビジネスクラブの申請・登録実績
↓登録数60先 登録準備中30先
- ・同窓会会長の定年制に関する検討状況
↓同窓会会長は大学の理事が充て職となっている。その大学の理事の定年は75才と定められているので、同窓会会長の定年も大学の理事と同様75才と定めてはどうかという協議
- ・同窓会会報の在り方に関するアンケート結果
- ↓会報の郵送希望40票 会報のWeb化44票
- ・郵送を取りやめた場合の維持会費納入方法・支部会報の同封をどうするかが課題
- (副会長 齊本正嘉)

大学の動向について

・愛知大学が人材育成力ランキング全国1位を獲得
↓企業人事に聞いた「卒業生が活躍している大学」調査(日経新聞社独自調査)において人材育成力総合ランキングで愛知大学が全国1位となりました。特にキャリア教育、留学生支援、グローバル教育への取り組みが評価されました。

・2027年4月社会情報学部(仮称)設置構想を推進
↓統計・データサイエンス・AIを学び変革する社会に対応できる人材を育成する。
(評議員 齊本正嘉)